

## 志保田 務 教授略歴

- 1937年 9月 6日 出生（大阪府）
- 1956年 3月 奈良県立奈良高等学校普通科卒業
- 1958年 4月 関西大学法学部入学
- 1963年 3月 関西大学法学部法律学科卒業
- 1994年 9月 アリゾナ大学附属図書館学校（客員研究員，平成7年8月まで）
- 2001年 4月 図書館情報大学大学院情報メディア研究科後期博士課程入学
- 2004年 3月 図書館情報大学大学院情報メディア研究科博士課程修了，図書館情報学博士（図書館情報大学）
- 1964年 4月 芦屋大学附属図書館勤務（非常勤，昭和40年11月同退職）
- 1965年12月 大阪府立大学附属図書館勤務（司書，主査）
- 1978年 3月 同退職
- 1978年 4月 桃山学院大学社会学部助教授（図書館学担当，昭和61年 教授）
- 1990年 4月 桃山学院大学文学部教授
- 1993年 4月 京都大学教育学部非常勤講師（現在に至る）
- 1993年 4月 放送大学客員教授（現在に至る）
- 2002年 4月 桃山学院大学経営学部教授（現在に至る）
- 2005年 4月 社団法人・日本図書館協会常務理事・図書館学教育部会長（現在に至る）
- 2006年 6月 文部科学省「これからの図書館検討協力者会議」委員（現在に至る）
- 2008年 3月 桃山学院大学定年退職予定
- 2008年 3月 名誉教授の称号を受ける

### 《学内委員等》

- 1991年 4月 社会教育センター長（1991年9月まで）
- 1998年 4月 計算機センター長（2000年3月まで）
- 2004年 4月 総合研究所長（2006年3月まで）
- 2006年 4月 国庫助成委員会委員長（2007年7月まで）
- 2006年 6月 国庫助成に関する私立大学教授会 関西中四国連絡協議会代表（2007年6月]まで）

その他 大学評議員，図書館委員会次長，教務委員会次長，学芸員・司書課程運営会議委員，共通教育協議会委員等各種委員歴任。他に，軽音楽部顧問（15年間），生活共同組合理事長（6年間）

### 《学会および社会における活動等》

1970年4月 日本図書館研究会（現在，理事・研究委員長）（現在に至る）  
1974年4月 日本図書館協会（現在，常務理事・図書館学教育部会長）（現在に至る）  
1974年4月 日本図書館情報学会（現在，理事）（現在に至る）  
1976年4月 図書館資料組織化研究会（現在，幹事）（現在に至る）  
1977年4月 アリゾナ・日本図書館員交流機構日本代表（2000年3月まで）  
1980年3月 日本図書館文化史研究会（現在に至る）  
1993年4月 大阪府美原町図書館協議会会長（2006年2月まで）  
1993年4月 情報科学技術協会（現在に至る）  
2003年4月 日本比較文学会入会（現在に至る）  
2005年4月 情報メディア学会（現在，理事）（現在に至る）

## 志保田 務 主要業績目録

### 1. 著 書

1977年 『戦後英米作家研究図書：書誌と所在』，日外アソシエーツ，268p，共著（森田敏治，山田忠彦，北山英一，青山弘，三浦整）  
1980年 『資料組織法』第一法規，288p. 共著（木原通夫，高鷲忠美）2007年改訂第6版  
1983年 『資料組織法演習問題集』第一法規，288p.  
1986年 『NDC変換便覧：新訂7-8版，6A-8版対照』日外アソシエーツ，421p 共著（野口恒雄）  
1987年 『分類・目録法入門』第一法規，156p.（共著）木原通夫  
1988年 『資料組織法演習問題集』赤版，第一法規，288p. 共著（木原通夫，高鷲忠美）  
1989年 『資料組織法演習問題集』緑版，第一法規，288p. 共著（木原通夫，高鷲忠美）  
1990年 『永井荷風の読書書誌：書誌学的研究』／荒竹出版，204p，共著（赤瀬雅子）

[本書にて第4回物集索引賞受賞]

- 1993年 『整理技術研究グループ史』 整理技術研究グループ, 51p, 単著
- 1993年 『目録と分類の理論: 森耕一整理技術論』 (志保田務編集: 編集後記—p419—参照), 日本図書館研究会, 291p, 共著 (執筆者多数)
- 1996年 『コンサイスAACR2 1988改訂版』 マイケル・ゴーマン著, 日本図書館協会, 221p, 訳・共著 (岩下康夫)
- 1996年 『日本図書館研究会の50年』 (志保田務編集: あとがき—p291—参照), 日本図書館研究会, 424p, 共著 (執筆者多数)
- 1997年 『図書館資料の目録と分類』 増訂版 (志保田務編: あとがき—p149—参照), 日本図書館研究会, 149p (増訂第2版2000年; 増訂第3版2005年), 共著 (松井純子)
- 1998年 『コンサイスAACR2: プログラム式演習』 エリック・ハンター著, 日本図書館研究会, 186p, 訳・共著 (岩下康夫)
- 1998年 『図書館概論』 (新・図書館学シリーズ論; 1) 樹村房, 183p, 前島重方, 高山正也監修, 共著 (渡辺信一ほか)
- 1998年 『資料組織論』 (放送大学教材), 放送大学教育振興会, 209p, 共著 (高鷺忠美)
- 1999年 『情報サービス論: 概説とレファレンスサービス演習』 学芸図書, 199p, 共著 (平井尊士ほか), 2007年: 第3版
- 1999年 『図書館と情報機器・特論: 情報メディアの活用12章』 学芸図書, 146p, 共著 (平井尊士)
- 1999年 『分類・目録法入門: メディアの構成』 第一法規, 156p, 共著 (向畑久仁, 井上祐子, 中村静子)
- 2000年 『情報活用術』 学芸図書, 215p, 共著 (平井尊士, 中崎修一)
- 2000年 『学校図書館メディアの構成』 (放送大学教材) 放送大学教育振興会, 263p, 共著 (高鷺忠美, 北克一)
- 2000年 『NCRプログラム式演習と基本概念の分析: 日本目録規則1987年版改訂版への手引き』 学芸図書, 186p, 共著 (岩下康夫, 遠山潤)
- 2001年 『資料組織法演習問題集』 マルチメディア版, 90p, 第一法規, 共著 (高鷺忠美, 平井尊士)
- 2001年 『資料・メディア総論: 図書館資料論・専門資料論・資料特論の統合化』 学芸図書, 221p, 共著 (山本順一, 平井尊士, 前川和子, 中村恵信, 谷本達哉)

- 2003年 『芥川龍之介の読書遍歴』学芸図書, 341p, 共著(山田忠彦, 赤瀬雅子)
- 2005年 『日本における図書館目録法の標準化と目録理論の発展に関する研究』学芸図書, 238p, 単著 [博士論文]
- 2005年 『NCRプログラム式演習と基本概念の分析: 日本目録規則1987年版改訂2版への手引き』学芸図書, 219p, 共著(岩下康夫, 遠山潤共著)
- 2005年 『改訂図書館概論』(新・図書館学シリーズ論; 1) 樹村房, 198p, 植松貞夫, 高山正也監修, 共著(植松貞夫ほか)
- 2007年 『学校教育と図書館: 司書教諭科目のねらい・内容とその解説』第一法規, 345p, 共著(山本順一, 北克一)

## 2. 論文

- 1969年9月 「大学図書館の行方《論調》」, 『図書館界』21(3), p73, 単著
- 1971年3月 「図書館とは何か《論調》」, 『図書館界』22(6), p203, 単著
- 1972年1月 「大学図書館におけるレファレンス(特集:図書館活動の現状と課題)」, 『図書館界』23(5), p208-219, 共著(伊藤数美; 光斎重治; 塩見昇; 天満隆之輔; 西屋千洋; 布川嘉祐; 松島春子; 小野泰昭・司会: 座談会)
- 1973年1月 「専門職制とその視点《提言》」, 『図書館界』24(5), p203, 単著
- 1973年1月 「図書封印事件《提言》」, 『図書館界』24(5), p203, 単著
- 1975年5月 「“図書館目録規則(案)”への質問にお答えして—遠藤英三氏・中村初雄氏のお手紙を中心に」, 『図書館界』27(1), p16-23, 共著(山田伸枝)
- 1975年11月 「公立大学図書館の基礎的研究(研究ノート)」, 『図書館界』27(3), p77-78, 単著
- 1975年11月 「『図書の受入・保管・払出』(合評「シリーズ・図書館の仕事〈書評〉)」, 『図書館界』27(3), p83-84, 単著
- 1976年3月 「“図書館目録規則(案)”における標目とその選定(第17回〔日本図書館研究会〕研究大会特集)」, 『図書館界』27(6), p196-200, 共著(光斎重治)
- 1976年9月 「目録法の進歩(150号記念特集)」, 『図書館界』28(2/3), 129-141, 共著(小野泰昭; 上田友彦)
- 1978年5月 「業者カードの現状とそれが提起しているもの(第19回〔日本図書館研究会〕研究大会特集)—(目録情報サービス発展のために—印刷カードを中心に(シンポジウム))」, 『図書館界』30(1), p6-9, 単著
- 1979年3月 「印刷カード事業における国立国会図書館の役割(我が国における印刷カ

- 下事業の史的考察—今日的課題への文献レビュー的アプローチ—(事項別考察)], 『図書館界』30(6), p233-239, 単著
- 1979年5月 「収書・選択関係文献目録(図書館の収集と選択〈特集〉)」『図書館界』31(1), p138-148, 共著(吉田憲一; 山田伸枝)
- 1979年6月 「情報の情報〈書誌〉の氾濫: 図書館を軸とした情報流通改革の提案」, 『出版ニュース』1979年6月中旬号, p3-7, 単著
- 1979年7月 「主題目録の排列について: NCR新版を中心として—2: 分類目録の標目と排列(第20回〔日本図書館研究会〕研究発表)」, 『図書館界』31(2), p180-190, 単著
- 1979年12月 「書誌の記述に関する研究序説: 日本目録規則・新版・予備版を中心に」, 『桃山学院大学人文科学研究』15(2), p127-150, 単著
- 1980年9月 「『日本十進分類法 新訂8版』における改訂事項: 同新訂7版関係事項との対照表」, 『桃山学院大学人文科学研究』16(1), p89-107, 単著[協力: 野口恒雄]
- 1980年11月 「『日本十進分類法 新訂8版』における改訂事項」, 『大手前女子大学論集』14, p132-147, 単著 [協力: 野口恒雄]
- 1980年12月 「『日本十進分類法 新訂8版』における改訂事項(2): 同新訂7版関係事項との対照表」, 『桃山学院大学人文科学研究』16(2), p149-180, 単著[協力: 野口恒雄]
- 1981年3月 「『日本十進分類法 新訂8版』における改訂事項(3): 同新訂7版関係事項との対照表」, 『桃山学院大学『桃山学院大学社会学論集』14(2), p161-172, 単著[協力: 野口恒雄]
- 1981年3月 「書評『近畿地区私立短期大学雑誌目録; 1980年1月現在』近畿地区私立短期大学図書館協議会編, 丸善大阪支店発売」『図書館雑誌』75(3), p140, 単著
- 1981年5月 「『日本十進分類法 新訂8版』における改訂事項(4): 同新訂7版関係事項との対照表」, 『桃山学院大学人文科学研究』17(1), p89-107, 単著[協力: 野口恒雄]
- 1981年9月 「日本目録規則(NCR) 新版予備版の規則構造に関する研究(稿)—NCR 新版予備版適用上の問題点・総論(第22回研究大会〔日本図書館研究会〕特集)」『図書館界』, 33(3), p119-124, 単著
- 1981年9月 「『日本十進分類法 新訂8版』における改訂事項(6): 同新訂7版関係事項との対照表」, 『桃山学院大学社会学論集』15(1), p99-109, 単著[協

力：野口恒雄]

- 1981年10月 「『日本十進分類法 新訂8版』における改訂事項(5)：同新訂7版関係事項との対照表」, 『桃山学院大学人文科学研究』17(2), p105-125, 単著 [協力：野口恒雄]
- 1982年8月 「書誌の記述」, 『書誌索引展望』6(3), p9-12, 単著
- 1982年9月 「地域における異種館間の協力問題(第23回〔日本図書館研究会〕研究大会特集)」, 『図書館界』34(3), p222-228, 単著
- 1983年7月 「図書館学受講の学生の入会を(第19期役員は語る)」『図書館雑誌』77(7), p402, 単著
- 1983年9月 「望まれる図書館学教育は！—アンケート調査を中心に」(第24回〔日本図書館研究会〕研究大会特集)」, 『図書館界』35(3), p120-130, 共著(西田文男；三浦整；藤井千年；中村恵信；中嶋二郎)
- 1984年6月 「NDC相関索引の下部構造に関する一考察：第7版、第8版の索引比較研究」, 『桃山学院大学人文科学研究』20(1), p85-111, 単著 [協力：野口恒雄]
- 1984年7月 「『回想の第七代国立国会図書館長；植木正張1年4か月の軌跡』(『回想の第七代国立国会図書館長』刊行会)〈書評〉」, 『図書館界』36(2), p85, 単著
- 1984年9月 「大学生の卒論作成における図書館利用；実態調査を中心に(第25回〔日本図書館研究会〕)」, 『図書館界』36(3), p140-155, 共著(西田文男；上田明；三浦整；藤井千年；中村恵信；中嶋二郎)
- 1985年1月 「目録界の動向(わが国における図書館・図書館学の発展：昭和50年代を中心に；図書館の資料と組織化)」, 『図書館界』36(5), p331-341, 共著(大城善盛)
- 1985年9月 「メディアの多様化と図書館サービス, マネージメントの問題点(第26回〔日本図書館研究会〕研究大会 グループ研究発表)」, 『図書館界』37(3), p124-130, 共著(光齋重治；上田明；中村恵信；西田文男；藤井収；藤井千年；三浦整)
- 1986年7月 「日本目録規則本版第2次案批判(第27回〔日本図書館研究会〕研究大会研究発表)」, 『図書館界』38(2), p88-92, 共著(野口恒雄；三浦整；吉田暁史)
- 1986年7月 「図書館奉仕はどのように教えられているか：図書館通論テキストの分析を中心に(第27回〔日本図書館協会〕研究大会研究発表)」, 『図書館界』

- 1986年 8月 38 (2), p93-98, 共著 (西田文男; 森田敏治; 桶樋達夫; 神代明; 三浦整)  
“The no-main-entry principle: historical background of Nippon Cataloging Rules” 『Program; 52nd General Conference Tokyo, Japan, 24-29 August 1986』 [IFLA], p.30, 共著 (高鷺忠美; 大城善盛)
- 1987年 3月 「大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究 (その一): 荷風の読書遍歴書誌 (共同研究: 書誌的研究法の考察と展開)」, 『桃山学院大学総合研究所報』 12 (3), p53-72, 共著 (赤瀬雅子. 協力: 山田伸枝 [ほか])
- 1987年 6月 「文献レビュー: 分類学習, 分類実務の観点から (分類一わが国の現況 (特集))」, 『現代の図書館』 25 (2), p122-124, 共著 (吉田暁史)
- 1987年 7月 「『新・目録法と書誌情報』 (丸山昭二郎編) (書評)」, 『図書館界』 39 (2), p69-70, 単著
- 1987年 7月 「大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究 (その二): 荷風の読書遍歴書誌 2 (共同研究: 書誌的研究法の考察と展開)」, 『桃山学院大学総合研究所報』 13 (1), p85-101, 共著 (赤瀬雅子. 協力: 山田伸枝 [ほか])
- 1987年 7月 「日本目録規則におけるエッセンシャル・ミニマムについての考察」, 『桃山学院大学社会学論集』 21 (1), p79-96, 単著
- 1987年 9月 「日本目録規則本版第3次案批判 (第28回 [日本図書館研究会] 研究大会研究発表)」, 『図書館界』 39 (3), p96-99, 共著 (柏田雅明; 野口恒雄; 吉田憲一; 吉田暁史)
- 1987年 9月 「図書館奉仕はどのように教えられているか—2—図書館通論テキストにあらわれた用語の分析 (第28回 [日本図書館研究会] 研究大会研究発表)」, 『図書館界』 39 (3), p104-108, 共著 (西田文男; 中村恵信; 三浦整)
- 1987年10月 「第35回日本図書館学会研究大会シンポジウム (1987年10月11日 法政大学) 記録—図書館目録の現状と将来, 「」 図書館学会年報』 34 (1), p31-47, 共著 (大城善盛 [ほか])
- 1987年12月 「大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究 (その三): 荷風の読書遍歴書誌 3 (共同研究: 書誌的研究法の考察と展開)」, 『桃山学院大学総合研究所報』 13 (2), p27-46, 共著 (赤瀬雅子. 協力: 山田伸枝 [ほか])
- 1988年 3月 「『日本目録規則1987年版』における用語及び用語解説に対する批判と提言」, 『図書館界』 39 (6), p229-237, 共著 ((野口恒雄; 三浦整; 山田伸枝; 吉田憲一)
- 1988年 3月 「大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究 (その4): 荷風の読書遍歴書誌 4 (共同研究: 書誌的研究法の考察と展開)」, 『桃山学院大学総合研究所報』 13 (3), p47-56, 共著 (赤瀬雅子. 協力: 山田伸枝 [ほか])

- 所報』13(3), p47-64, 共著(赤瀬雅子. 協力: 山田伸枝 [ほか])
- 1988年7月 「図書館学科目としての〈図書館利用者教育法〉: その設置の必要性と教授要目試案(第29回 [日本図書館研究会] 研究大会研究発表), 『図書館界』40(2), p77-80, 共著(西田文男; 柏田雅明; 光齋重治; 丸本郁子; 三浦整; 向畑久仁; 三浦整)
- 1988年7月 「大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究(その5): 荷風の読書遍歴書誌5(共同研究: 書誌的研究法の考察と展開), 『桃山学院大学総合研究所報』14(1), p45-61, 共著(赤瀬雅子. 協力: 山田伸枝 [ほか])
- 1988年12月 「大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究(その6) 荷風の読書遍歴書誌6(共同研究: 書誌的研究法の考察と展開), 『桃山学院大学総合研究所報』14(2), p33-50, 共著(赤瀬雅子. 協力: 山田伸枝 [ほか])
- 1989年3月 「大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究(その7): 荷風の読書遍歴書誌7(共同研究: 書誌的研究法の考察と展開), 『桃山学院大学総合研究所報』14(3), p21-32, 共著(赤瀬雅子. 協力: 山田伸枝 [ほか])
- 1989年4月 “The no-main-entry principle: historical background of Nippon Cataloging Rules”, *Cataloging & Classification Quarterly*, 9(4); p.67-77, 共著(高鷺忠美; 大城善盛)
- 1989年7月 「図書館奉仕はどのように教えられているか—3—図書館・情報学テキストの研究を通して(第30回 [日本図書館研究会] 大会研究発表), 『図書館界』41(2), p71-74, 共著(西田文男; 三浦整)
- 1990年1月 「日本の目録規則(NCR)における相対機能の研究, 『桃山学院大学人文科学研究』25(2), p125-144, 単著
- 1990年7月 「日本目録規則(NCR)1987年版の実用化を図って〈[日本図書館研究会] 第31回研究大会研究発表〉, 『図書館界』42(2), p106-111, 共著(野口恒雄; 能美純子; 三浦整)
- 1990年12月 「桃山と司書・司書補講習会: 沿革小史」『司書講習の三十年; 桃山学院大学司書・司書補講習会30周年記念誌』p16-20, 単著
- 1991年2月 「分類と索引とデータベース; 山田常雄氏追悼論集(山田常雄氏追悼論集刊行会, 学術文献普及会, 1990)”(書評), 『整理技術研究』, 28, p39-44, 単著
- 1990年7月 「図書館奉仕と〈図書館活動論〉—実務と大学教育をめぐって(第31回 [日本図書館研究会] 研究大会シンポジウム)—(第31回 [日本図書館研究会] 研究大会研究発表), 『図書館界』40(2), p84-89, 共著(西田文男; 三



浦整)

- 1991年 7月 「〈短大図書館〉の理論構成—短大図書館記述のための枠組みづくり／試論  
（〔日本図書館研究会〕第32回研究大会研究発表）, 『図書館界』 43（2）,  
p70-74, 共著（前川和子；三浦整；西田文男）
- 1992年 5月 「上田修一著『書誌ユーティリティ:新たな情報センターの誕生』《書評》,  
44（1）, p34-35, 共著（北克一）
- 1992年 7月 「《座標》なんのための改訂?」, 『図書館界』 44（3）, p101, 単著
- 1992年 8月 「書誌記録の単位・レベル；議論の蓄積とその意義」, 『TP&Dフォーラム  
シリーズ』 1, p4-27 単著
- 1992年 9月 「植田喜久次著『目録作成の技法 改訂版』《書評》, 『図書館界』 44（4）,  
p184-186, 共著（北克一）
- 1992年12月 「若い日の芥川龍之介;読書書誌」, 『整理技術研究』 31, p34-46, 共著（山  
田忠彦；赤瀬雅子；山田伸枝；三浦整；深本悦子）
- 1993年 3月 「《エコ》目録技法反論をよむ：自戒とともに」, 『図書館界』 44（6）,  
p314, 共著（北克一）
- 1993年 5月 「書誌情報の標準化とOPAC—1980年以降の動向と発展—《特集：図書館・  
図書館学の発展—20世紀から21世紀へ》」『図書館界』 45（1）, p123-142,  
共著（北克一；芝勝徳）
- 1993年 6月 「芥川龍之介の文壇登場を支えた読書；鼻・芋粥・羅生門時代の芥川龍之  
介の読書遍歴・書誌」, 『整理技術研究』 32, p6-31, 共著（山田忠彦；三  
浦整；深本健一郎；赤瀬雅子；山田伸枝；深本悦子）
- 1993年 7月 「NDC 9版を考える（4）8類（言語）の問題点」, 『図書館界』 45（2）,  
p276-280, 共著（谷本達哉）
- 1993年 9月 「NDC 9版を考える（5）9類（文学）の問題点」, 『図書館界』 45（3）,  
p333-338, 共著（三浦整；北克一）
- 1992年11月 「森耕一と整理技術論」『目録と分類の理論：森耕一と整理技術論の発展』,  
1992, p1-17, 単著
- 1992年11月 「インタビュー・森耕一：整理技術の話」『目録と分類の理論：森耕一と整  
理技術論の発展』, 1992, p249-284, 共著（北克一）
- 1994年 1月 「『日本目録規則1987年版』改訂の動向と問題点—1992年版改訂原案の検  
討」, 『図書館界』 45（5）, p426-436, 共著（北克一）
- 1994年 1月 「整理技術時代の実像」, 『図書館界』 45（5）, p442-443, 単著
- 1994年 3月 「《訃報》木原通夫教授ご逝去:司書養成への熱意と力」, 『図書館界』45（6）,

- p472, 単著
- 1994年5月 「『エコー』『目録と分類の理論：森耕一と整理技術論の発展』をめぐるアポリア」, 『図書館界』46(1), p40, 単著
- 1994年7月 「参考業務(演習) テキストの検討〈特集 [日本図書館研究会] 35回研究大会研究発表〉『図書館界』46(2), p50-58, 共著(吉田憲一;西田文男;谷本達哉;三浦整;北克一)
- 1994年7月 「目録法の蓄積と現代的課題—NCR1987年版の改訂案まで—〈特集:第35回研究大会(1) グループ研究発表〉, 『図書館界』46(2), p66-71, 共著(北克一)
- 1995年3月 「NDC9版を考える(6) NDC9版補助表(案)を検討する」, 『図書館界』46(6), p246-252, 共著(北克一)
- 1995年7月 「〈参考業務演習〉教育の検討—担当教員へのアンケート調査をもとに—〈特集: [日本図書館研究会] 第36回研究大会研究発表〉『図書館界』47(2), p60-69, 共著(吉田憲一;西田文男;三浦整)
- 1995年7月 「〈書評〉「和書目録法入門」『図書館界』47(2), p88-91, 共著(北克一)
- 1995年9月 「集中・分担目録時代の整理業務の位相《特集・「変革期」に立ち向かう図書館》」, 『図書館界』47(3), p112-121, 単著
- 1995年9月 「我鬼窟から澄江堂へ; 大家への歩み, そして衰弱の兆候; 大正10-13年の芥川龍之介の読書遍歴・書誌」, 『整理技術研究』, 35, p6-61, 共著(山田忠彦; 赤瀬雅子; 山田伸枝; 三浦整; 深本悦子; 深本健一郎)
- 1996年1月 「目録世界の未来への招待: 訪問日本図書館人を歓迎して」, Michael Gorman述 『整理技術研究』36, p23-25, 共訳(岩下康夫)
- 1996年1月 「芥川終末期の読書書誌; 大正14-15年」, 『整理技術研究』36, p26-63, 単著
- 1996年1月 「〈書評〉『情報技術と図書館: 小田泰正先生追悼論文集』」, 『図書館界』47(5), p302-304, 単著
- 1996年3月 「NDCをめぐる〈分類コード〉の比較検討 0類を対象に」, 『中京大学図書館学紀要』17, p82-96, 単著
- 1996年3月 「芥川龍之介終焉期の読書: 1927年の芥川龍之介の読書遍歴: 迫り来る時代の不安に耐えかねて(共同研究: 芥川龍之介の読書書誌)」, 『桃山学院大学総合研究所紀要』21(3), p75-115, 共著(赤瀬雅子; 山田忠彦; 山田伸枝; 三浦整; 深本悦子)
- 1996年7月 「国立国会図書館関西館(仮称)構想に対する一検討(《特集 [日本図書館

- 研究会)第37回研究大会研究発表)『図書館界』48(2), p56~61, 共著(中村恵信;北克一;西田文男)
- 1996年8月 「『日本目録規則1987年版』以降:新原則に対する管見;改訂版(1994)を含んで」,『TP&Dフォーラムシリーズ』5, p49-63, 共著(北克一)
- 1996年9月 「“清新な図書館運動の第一歩”に始まる50年:未来への発進」,『図書館界』48(3), p121, 単著
- 1996年10月 「〈資料組織化〉をめぐって」,『大学図書館研究』50, p68-72, 単著
- 1996年11月 「整理技術研究グループ〈特集:日本図書館研究会の50年・主題別研究グループ〉」,『図書館界』48(4), p237-239, 単著
- 1997年3月 「図書館法施行規則改訂:整理関係科目に対する一考察」,『中京大学図書館学紀要』18, p1-20, 単著
- 1997年3月 「混沌の目録法〈chaos〉」マイケル・ゴーマン著,『情報総合情報センター年報』3, p42-50, 大阪府立大学発行, 共訳(本山晶子)
- 1998年1月 「省令科目「資料組織演習」におけるコンピュータ目録演習環境の構築—司書課程レベルをもとに」,『整理技術研究』39, p17-29, 共著(北, 克一;高鷲忠美)
- 1998年7月 「〈図書館経営論〉の検討(特集〔日本図書館研究会〕第39回研究大会研究発表)」,『図書館界』50(2), p92-98, 共著(西田文男)
- 1998年7月 「『日本目録規則1987年版改訂版』への意見と提案—書誌階層構造をはじめとして」,『整理技術研究』40, p1-21, 共著(古川肇)
- 1998年7月 「〈資料組織演習〉:コンピュータ目録演習課題の自動提示機能の展開」,『整理技術研究』40, p11-22, 共著(北克一;高鷲忠美)
- 1999年7月 「〈情報サービス〉概念の導入とその領域:改正省令下の〈情報サービス概説〉を中心に」,『図書館界』51(2), p92-98, 単著
- 1999年7月 「資料組織法から学校図書館のメディアの構成へ」,『整理技術研究』41, p1-12, 共著(谷本達哉)
- 1999年7月 「続『日本目録規則1987年版改訂版』への意見と提案(上)」,『整理技術研究』41, p13-27, 共著(古川肇)
- 1999年7月 「『日本目録規則1987年版改訂版』における〈版に関する事項〉の規則構造」,『整理技術研究』41, p29-38, 共著(北克一)
- 1999年7月 「『日本目録規則1987年版改訂版』の逐次刊行物関係規定間のバランスに関する一研究」,『整理技術研究』41, p39-43, 共著(北克一)
- 2000年2月 「『日本目録規則1987年版改訂版』における区切り記号法に関する一検討—

- 書誌レベルを主軸に], 『整理技術研究』 42, p13-18, 共著 (北克一)
- 2000年 2月 「続『日本目録規則1987年版改訂版』への意見と提案(下)], 『整理技術研究』 42, p19-26, 共著 (古川肇)
- 2000年 7月 「司書科目における書誌データベース構築演習の一手法の提案], 『資料組織化研究』 43, p31-39, 共著 (平井尊士; 北克一)
- 2000年 7月 「省令の資料論三科目 (『図書館資料論』, 『専門資料論』, 『資料特論』) の関係構造—その連携を求めて (特集 [日本図書館研究会] 第41回研究大会研究発表) 『図書館界』 52 (2), p92-102, 共著 (谷本達哉; 中村恵信)
- 2000年 7月 「グループ研究発表 学校図書館と『情報化』の一考察 (特集 [日本図書館研究会] 第41回研究大会研究発表)], 『図書館界』 52 (2), p124-130, 共著 (平井尊士)
- 2000年12月 「図書館はすべての情報サービスの基本」『LIBRARY REPORTS: 図書館の明日を探る情報誌』 12, p1-3, 共著 (平井尊士)
- 2001年 7月 「目録における〈相対性〉の考察稿], 『資料組織化研究』 44, p11-22, 共著 (北克一)
- 2001年 7月 「〈真理がわれらを自由にする〉における“原典”と引用法小論 (コラム カタログラーのメモ)」『資料組織化研究』 44, p23-29, 単著
- 2001年 7月 「図書館学教育・図書館利用教育におけるWeb教材・ビデオ教材の活用: 調査のための予備的考察 (特集 [日本図書館研究会] 第42回研究大会研究発表)], 『図書館界』 53 (2), p112-117, 共著 (前川和子; 平井尊士)
- 2001年 7月 「書誌情報の集中提供システムの成立と利用関係マニュアル策定の相関: その読み取りの試み (特集 [日本図書館研究会] 第42回研究大会研究発表)], 『図書館界』 53 (2), p142-145, 単著
- 2001年 8月 「件名標目表の諸表について」, 『TP&Dフォーラムシリーズ』 10, p18-27, 単著
- 2001年11月 「21世紀の図書館を展望する (3) 日本における国立図書館機能, 国民のための図書館奉仕: 史的考察」, 『図書館界』 53 (4), p458-467, 単著
- 2002年 9月 「〈記述独立方式〉と森耕一: 非基本記入方式の成立『図書館文化史研究』 (19), p133-148, 単著
- 2002年 3月 「読書書誌索引稿: 『芥川龍之介全集』 (岩波書店 1977-1978) を基盤に (共同研究)], 『桃山学院大学総合研究所紀要』 27 (3), p223-264, 共著 (山田忠彦; 赤瀬雅子; 山田伸枝; 三浦整; 深本悦子)
- 2002年 3月 “Cataloging Rules in Japan and Anglo-American Cataloguing Rules: In

- the Past Century and Present”, 『桃山学院大学環太平洋圏経営研究』 3, p3-26, 単著
- 2002年 7月 「日本における書誌基準実質決定システムの変遷に関する一考察（特集〔日本図書館研究会〕第43回研究大会研究発表）, 『図書館界』 54（2）, p116-121, 単著
- 2002年 7月 「“実例”を軸とした目録研究法の検討：山田常雄著〈著者書名目録の機能と標目〉を軸に」, 『資料組織化研究』 46, p1-16, 共著（北克一）
- 2002年12月 「〈書誌〉読書書誌索引稿：芥川龍之介2（西洋人名）：『芥川龍之介全集』（岩波書店1978）を基盤に」, 『桃山学院大学総合研究所紀要』 28（2）, p123-147, 単著（協力：山田忠彦；赤瀬雅子；山田伸枝；三浦整；深本悦子）
- 2003年 1月 「図書館学研究の熱意と苦悩：塩見昇「これからの図書館と図書館研究」〈シリーズ・21世紀の図書館を展望する：対論編6〉」, 『図書館界』 54（6）, p282-85, 単著
- 2003年 2月 「ダウンズ勧告における目録法関係事項と、その受容・展開に関する一考察」, 『資料組織化研究』 47, p25-28, 共著（北克一；杉本節子）
- 2003年 2月 「目録規則標準化年表：日本図書館界を主対象」, 『資料組織化研究』 47, p29-36, 単著
- 2003年 7月 「インターネット時代の情動的サービス：公共図書館の場合（特集〔日本図書館研究会〕第44回研究大会研究発表）, 『図書館界』 55（2）, p102-108, 共著（前川和子）
- 2003年11月 「戦前期における大学等の総合目録・目録規則策定に関する史的考察」, 『資料組織化研究』 48, p23-29, 単著
- 2003年12月 「近代初期における図書館目録規則の標準化過程に関する一考察」, 『桃山学院大学』国際文化論集』 29, p215-236, 単著
- 2004年 6月 「〈配架〉に関する解説の不足と、誤解の発生（カタログのメモ）」, 『資料組織化研究』 49, p27-31, 単著
- 2004年 7月 「〈情報〉科目テキストにおける〈図書館〉（〔日本図書館研究会〕第45回研究大会研究発表）」, 『図書館界』 56（2）, p120-126, 共著（藤間眞；谷本達哉；西岡清統）
- 2004年12月 「〈情報〉科目テキストにおける〈情報公開制度〉」, 『桃山学院大学人間科学』 28, p121-139, 共著（藤間眞；谷本達哉；西岡清統）
- 2004年12月 “Issues and Trends in Japan: Information Culture and Bibliographic

- Control”『Azla. Dcember. 2』, p.2-4, 共著(北克一)
- 2005年3月 「図書記号の再検討:NDC, NCRとの関係を中心に」, 『資料組織化研究』50, p11-18, 共著(北克一)
- 2005年3月 「整理技術関係の手本, 解説を提示することの必要(カタログガーのメモ)」, 『資料組織化研究』50, p29-34, 共著(西岡統;北西英里)
- 2005年3月 「間宮不二雄と『図書館雑誌』, 『圃研究』, 『桃山学院大学経済経営論集』46(4), p1-7, 単著
- 2005年7月 「〈情報〉科目テキスト等における〈図書館〉(その2)(〔日本図書館研究会〕第46回研究大会研究発表)」, 『図書館界』57(2), p112-119, 共著(藤間真;谷本達哉;西岡清統)
- 2005年7月 「図書館利用者クレームへの取り組みの動向—文献的考察(〔日本図書館研究会〕第46回研究大会研究発表)」, 『図書館界』57(2), p120-129, 共著(前川和子;中村恵信)
- 2005年12月 「図書館用語の“ゆれ”に関する一考察—〈リボン式配架〉を素材に『資料組織化研究』51, p9-19, 共著(北克一;杉本節子)
- 2005年12月 「二つの基本記入論争:研究ノート(カタログガーのメモ)」, 『資料組織化研究』51, p29-30, 単著
- 2006年3月 「報告と討議の概要(第26回桃山学院大学・啓明大学校国際学術セミナー)」『桃山学院大学総合研究所紀要』31(3), p1-4, 単著
- 2006年6月 「Catalogerとレファレンサー(referencer):和製英語—安易な“er”使用批判(カタログガーのメモ)」, 『資料組織化研究』52, p63-67, 共著(村田修身;本山晶子)
- 2006年7月 「〈レファレンス〉をめぐって:省令科目内の位置づけの再検討を中心に(〔日本図書館研究会〕第47回研究大会研究発表)」, 『図書館界』58(2), p90-98, 共著(中村恵信;前川和子)
- 2007年3月 「シンポジウム開催の趣旨(シンポジウム もり・きよし—生誕100年—:日本図書館文化史研究会2006年度研究集会)」, 『図書館文化史研究』24, p1-3, 単著
- 2007年4月 「『日本目録規則1987年版改訂3版』の「第13章 継続資料」の検討」, 『TP&Dフォーラムシリーズ』16, p28-37, 共著(北克一)
- 2007年7月 「公共図書館における有料データベースの導入について(〔日本図書館研究会〕第48回研究大会研究発表)」, 『図書館界』59(2), p132-136, 共著(藤間真;西岡清統)

- 2007年 9 月 「〈書評〉岩猿敏生著〈日本図書館史概説〉(図書館員の本棚)」, 『図書館雑誌』 101 ( 9 ), p645, 単著
- 2007年 9 月 「森耕一における研究行動サイクル, またはミッション: 整理技術分野における研究と本務, 委員職等との連関に関する一考察」『整理技術研究グループ50 周年記念論集』(日本図書館研究会生理技術研究グループ), p162-170, 単著
- 2007年 9 月 「〈書評〉日本図書館情報学会研究委員会編『図書館情報専門職のあり方とその養成』〈シリーズと情報学のフロンティア: 6〉 勉誠出版, 2006, 10)」『図書館界』 59 ( 3 ), p200, 単著
- 2008年 1 月 「NDCの汎用分類表への移行軌跡: もり・きよしの活動を中心に」『資料組織化研究』 54, p37-42, 共著 (北克一)
- 2009年 3 月 「今後の図書館員制度に関する日図協の取り組み」『図書館雑誌』 102 ( 3 ), 〈予定〉, 単著

### 3. 辞典・ハンドブック (執筆項目)

- 1982年 『図書館用語辞典』(図書館問題研究会編) 角川書店, (項目担当)
- 1990年 『図書館ハンドブック』 第5版, 日本図書館協会編刊, (項目担当)
- 1997年 『図書館情報学用語辞典』(日本図書館情報学会編), 丸善, (項目担当)

### 4. 口頭発表

- 1976年 2 月 「“図書館目録規則 (案)” における標目とその選定 (第17回 [日本図書館研究会] 研究大会発表)」, 所載『図書館界』 27 ( 6 ), p196-200, 共著 (光斎重治)
- 1978年 2 月 「業者カードの現状とそれが提起しているもの(第19回[日本図書館研究会] 研究大会特集)—(目録情報サービス発展のために—印刷カードを中心に(シンポジウム)」, 所載『図書館界』 30 ( 1 ), p6-9, 単著
- 1979年 2 月 「主題目録の排列について: NCR新版を中心として—2: 分類目録の標目と排列 (第20回 [日本図書館研究会] 研究発表)」, 所載『図書館界』 31 ( 2 ), p180-190, 単著
- 1981年 2 月 「日本目録規則 (NCR) 新版予備版の規則構造に関する研究 (稿)—NCR 新版予備版適用上の問題点・総論 (第22回研究大会 [日本図書館研究会] 研究発表)」 所載『図書館界』, 33 ( 3 ), p119-124, 単著
- 1981年11月 「図書館ゼミナールおよび図書館学の卒論について」 於・第33回近畿地区

- 図書館学科協議会（ノートルダム女子大学），所載『近畿地区図書館学科協議会の歩み（抜粋）』（青木次彦編），同志社大学図書館学課程，1982，p15，単著
- 1982年2月 「地域における異種館間の協力問題（第23回〔日本図書館研究会〕研究発表）」所載『図書館界』34（3），p222-228，単著
- 1983年2月 「望まれる図書館学教育は！—アンケート調査を中心に（第24回〔日本図書館研究会〕研究大会研究発表）」，所載『図書館界』35（3），p120-130，共著（西田文男；三浦整；藤井千年；中村恵信；中嶋二郎）
- 1984年2月 「大学生の卒論作成における図書館利用；実態調査を中心に（第25回〔日本図書館研究会〕研究大会研究発表）」，所載『図書館界』36（3），p140-155，共著（西田文男；上田明；三浦整；藤井千年；中村恵信；中嶋二郎）
- 1985年2月 「メディアの多様化と図書館サービス，マネジメントの問題点（第26回〔日本図書館研究会〕研究大会研究発表）」，所載『図書館界』37（3），p124-130，共著（光齋重治；上田明；中村恵信；西田文男；藤井収；藤井千年；三浦整）
- 1985年11月 「“一般教育”に対する図書館学，図書館学教育のかかわりについて」（第33回日本図書館学会研究大会研究発表）」，所載『図書館学会年報』31（4），p186，1985. 12，単著
- 1986年2月 「日本目録規則本版第2次案批判（第27回〔日本図書館研究会〕研究大会研究発表）」，所載『図書館界』38（2），p88-92，共著（野口恒雄；三浦整；吉田暁史）
- 1986年2月 「図書館奉仕はどのように教えられているか；図書館通論テキストの分析を中心に（第27回〔日本図書館協会〕研究大会研究発表）」，所載『図書館界』38（2），p93-98，共著（西田文男；森田敏治；桶樋達夫；神代明；三浦整）
- 1986年8月 “The no-main-entry principle: historical background of Nippon Cataloging Rules” [IFLA東京大会発表]，所載『Program: 52nd General Conference Tokyo, Japan, 24-29 August 1986』p.30，共著（高鷲忠美；大城善盛）
- 1987年2月 「日本目録規則本版第3次案批判（第28回〔日本図書館協会〕研究大会研究発表）」，所載『図書館界』39（3），p96-99，共著（柏田雅明；野口恒雄；吉田憲一；吉田暁史）



- 1987年 2月 「図書館奉仕はどのように教えられているか—2—図書館通論テキストにあらわれた用語の分析(第28回〔日本図書館研究会〕研究大会研究発表)」、  
所載『図書館界』39(3), p104-108, 共著(西田文男;中村恵信;三浦整)
- 1987年10月 「第35回日本図書館学会研究大会シンポジウム(1987年10月11日 法政大学)記録—図書館目録の現状と将来」, 所載『図書館学会年報』34(1),  
p31-47, 共著(大城善盛 [ほか])
- 1987年10月 「書誌階層規定化過程に関する一考察—NCR本版第2—第3次案, 1987年版におけるその策定・修正実態の分析・批判」(第35回日本図書館研究会研究大会研究発表), 所載『図書館学会年報』33(4), p192, 1987. 12, 単著
- 1988年 2月 「図書館学科目としての「図書館利用者教育法」—その設置の必要性と教授要目試案—(第29回〔日本図書館研究会〕研究大会研究発表)」、  
所載『図書館界』40(2), p77-80, 共著(西田文男;柏田雅明;光齋重治;丸本郁子;三浦整;向畑久仁;三浦整)
- 1989年 2月 「図書館奉仕はどのように教えられているか(3)—〈図書館・情報学〉テキストの研究を通して—(第30回日本図書館研究会研究大会研究発表)」、  
所載『図書館界』40(2), p70-74, 共著(中村恵信;能美純子;三浦整;西田文男)
- 1990年 2月 「図書館奉仕と「図書館活動論」—実務と大学教育をめぐって(第31回〔日本図書館研究会〕研究大会研究発表)」、  
所載『図書館界』40(2), p84-89, 共著(西田文男;三浦整)
- 1990年 2月 「日本目録規則(NCR)1987年版の実用化を図って(〔日本図書館研究会〕第31回研究大会研究発表)」、  
所載『図書館界』42(2), p106-111, 共著(野口恒雄;能美純子;三浦整)
- 1991年 2月 「〈短大図書館〉の理論構成—短大図書館記述のための枠組みづくり/試論(第32回研究大会研究発表)」、  
所載『図書館界』43(2), p70-74, 共著(前川和子;三浦整;西田文男)
- 1991年 9月 「書誌記録の単位・レベル;議論の蓄積とその意義」, 所載『TP&Dフォーラムシリーズ』1(1992年6月刊行), p4-27, 単著
- 1991年10月 「目録における相対性—コンピュータ目録において—(第39回日本図書館学会研究大会発表)」、  
所載『図書館学会年報』37(4), p195, (1991年12月刊行) 共著(北克一)
- 1992年 9月 「NCR1987年版記述規定における限界とそれへの対応:理論形成・試行(第

- 40回日本図書館学会・西日本図書館学会合同研究大会発表)」、所載『図書館学会年報』38(4), p195(1992年12月刊行), 共著(北克一)
- 1993年10月 「相対性の〈発見〉に関する一検討:非基本記入の目録方式の成立時期を巡って(第41回日本図書館学会研究大会発表)」、所載『図書館学会年報』39(4), p189-190(1993年12月刊行), 単著
- 1994年2月 「参考業務(演習)テキストの検討([日本図書館研究会]35回研究大会研究発表)」、所載『図書館界』46(2), p50-58, 共著(吉田憲一;西田文男;谷本達哉;三浦整;北克一)
- 1994年2月 「目録法の蓄積と現代的課題—NCR1987年版の改訂案まで—([日本図書館研究会]第35回研究大会研究発表)」、所載『図書館界』46(2), p66-71, 共著(北克一)
- 1995年2月 「参考業務演習」教育の検討:担当教員へのアンケート調査をもとに([日本図書館研究会]第36回研究大会グループ研究発表)」、所載『図書館界』47(2), p60-69, 共著(吉田憲一;西田文男;三浦整)
- 1995年9月 「『日本目録規則1987年版』以降:新原則に対する管見;(1994)を含んで」、所載『TP&Dフォーラムシリーズ』5, p49-63(1996年7月刊行), 共著(北克一)
- 1996年2月 「国立国会図書館関西館(仮称)構想に対する一検討([日本図書館研究会]第37回研究大会研究発表)」、所載『図書館界』48(2), p56-61, 共著(中村恵信;北克一;西田文男)
- 1996年12月 「新省令科目内の〈資料組織概説〉及び〈資料組織演習〉」、第48回近畿地区図書館学科協議会 於・英知大学, 所載<http://www.nc.otemae.ac.jp/kenkyu/yosida/kink/Kiroku/kiroku1996pdf>(2008年1月31日閲覧), 単著
- 1997年11月 「省令科目「資料組織演習」におけるコンピュータ主体の演習環境構築の一試行:司書課程レベルをもとに(第45回日本図書館学会研究大会発表)」、所載『図書館学会年報』43(4)(1997年12月刊行), p195, 共著(高鷲忠美;北克一)
- 1997年11月 「新課程による授業実践:図書館経営論試論:〈図書館経営論〉について, 文部省の「司書の講習科目のねらいと内容」第49回近畿地区図書館学科協議会, 於:仏教大学, <http://www.nc.otemae.ac.jp/kenkyu/yosida/kinki/Kiroku/kiroku1997>(2008年1月31日閲覧), 単著
- 1998年2月 「〈図書館経営論〉の検討([日本図書館研究会]第39回研究大会研究発表)」

- 所載『図書館界』50(2), p92-98, 共著(西田文男)
- 1998年11月 「『日本目録規則1987年版改訂版』の逐次刊行関係規定間のバランスに関する一考察(第46回日本図書館学会研究大会発表)」, 所載『図書館学会年報』44(3), p130(1998年, 12月刊行), 共著(北克一)
- 1999年2月 「情報サービス」概念の導入とその領域—改正省令下の「情報サービス概説」を中心に(『日本図書館研究会』第40回研究大会研究発表)」, 所載『図書館界』51(2), p92-98, 単著
- 1999年5月 「図書館の設備・機器に研究名する環境重視型思考の展開(1999年度日本図書館情報学会春季研究集会研究発表)」, 所載『図書館情報学会誌』45(2)(1999年7月刊行), p88, 共著(平井尊士; 向畑久仁)
- 1999年11月 「司書科目における書誌データベース構築演習の一手法の提案(第47回日本図書館情報学会研究大会発表)」, 所載『日本図書館情報学会誌』45(4), p169(2000年1月), 共著(平井尊士; 北克一)
- 1999年11月 「『日本目録規則1987年版改訂版』における区切り記号法に関する一検討: 書誌レベルを主軸に(第47回日本図書館情報学会研究大会発表)」, 所載『日本図書館情報学会誌』p.173, (2000年1月刊行) 共著(北克一)
- 2000年2月 「省令の資料論三科目(『図書館資料論』, 『専門資料論』, 『資料特論』)の関係構造—その連携を求めて(特集『日本図書館研究会』第41回研究大会研究発表)」, 所載『図書館界』52(2), p92-102, 共著(谷本達哉; 中村恵信)
- 2000年2月 「学校図書館と『情報化』の一考察(『日本図書館研究会』第41回研究大会研究発表)」, 所載『図書館界』52(2), p124-130, 共著(平井尊士)
- 2000年8月 「件名標目表の諸表について」(TP&Dフォーラム; 10), 所載『TP&Dフォーラムシリーズ』10, p18-27(2001年8月刊行), 単著
- 2000年11月 「情報教育環境と〈教育コンテンツボックス〉の構築: 学校図書館を対象とした一提示」(第48回日本図書館情報学会研究大会発表), 所載『日本図書館情報学会誌』p159(2001年1月刊行), 共著(平井尊士; 西田悦雄; 植田道成; 寺澤陽一郎; 中村静子)
- 2001年2月 「図書館学教育・図書館利用教育におけるWeb教材・ビデオ教材の活用: 調査のための予備的考察(『日本図書館研究会』第42回研究大会研究発表)」, 所載『図書館界』53(2), p112-117, 共著(前川和子; 平井尊士)
- 2001年2月 「書誌情報の集中提供システムの成立と利用関係マニュアル策定の相関: その読み取りの試み(『日本図書館研究会』第42回研究大会研究発表)」,

- 所載『図書館界』53(2), p142-145, 単著
- 2001年10月 「機械可読目録(マルチメディア)時代における相対性機能の研究(第49回日本図書館情報学会発表)」、所載『日本図書館情報学会誌』47(3)(2002年1月刊行), p130 共著(北克一)
- 2001年12月 「Catalog and Cataloging in Japan: in the past century and present」  
“AzLA/MPLA Conference 2001, December 5-7” (in Preliminary Conference Program, p.34 ; <http://www.azla.org/azla>)
- 2002年2月 「日本における書誌基準実質決定システムの変遷に関する一考察(〔日本図書館研究会〕第43回研究大会研究発表)」、所載『図書館界』54(2), p116-121, 単著
- 2002年11月 「ダウンズ勧告における「目録法」関係事項と、その受容・展開に関する一考察(第50回日本図書館情報学会発表)」、所載『日本図書館情報学会誌』48(4)(2002年12月刊行), p186, 共著(北克一; 杉本節子)
- 2003年2月 「インターネット時代の情動的サービス: 公共図書館の場合(〔日本図書館研究会第44回研究大会研究発表)」所載『図書館界』55(2), p102-108, 共著(前川和子)
- 2003年10月 「戦前期における大学等の総合目録/目録規則策定に関する史的考察(第50回日本図書館情報学会発表)」、所載『日本図書館情報学会誌』49(3)(2003年9(ママ)月刊行), p134, 共著(北克一)
- 2004年2月 「〈情報〉科目テキストにおける〈図書館〉(〔日本図書館研究会〕第45回研究大会研究発表)」、所載『図書館界』56(2), p120-126, 共著(藤間眞; 谷本達哉; 西岡清統)
- 2004年9月 「間宮不二雄と『図書館雑誌』と『図書館研究』(日本図書館文化史研究会2004年度集会, 於・京都精華大学)」、所載『日本図書館文化史研究会ニューズレター』90号, p9, 単著
- 2004年12月 “Issues and Trends in Japan: Information Culture and Bibliographic Control” 2004年アリゾナ州図書館大会での発表, 所載『AzLA. report』2004, p1-4, 共著(北克一)
- 2005年2月 「〈情報〉科目テキスト等における〈図書館〉(その2)(〔日本図書館研究会〕第46回研究大会研究発表)」、所載『図書館界』57(2), p112-119, 共著(藤間眞; 谷本達哉; 西岡清統)
- 2005年2月 「図書館利用者クレームへの取り組みの動向—文献的考察(〔日本図書館研究会〕第46回研究大会研究発表)」、所載『図書館界』57(2), p120-129,

- 共著（前川和子；中村恵信）
- 2005年 4 月 「JLA図書館学教育部会の役割～第24期発足にあたって～（日本図書館協会図書館学教育部会研修会発表）」, 所載『図書館学教育部会会報』73号, p1-2, (2005. 年12月刊行), 単著
- 2005年10月 「第10分科会の開催にあたって（第91回全国図書館大会発表）」, 所載『図書館学教育部会会報』75号, p1-2, (2006年 3 月刊行), 単著
- 2005年11月 「二つの主記入論争：青年図書館員連盟と後継者を焦点に」（日本図書館文化史研究会2005年度第 2 回集会）, 所載『日本図書館文化史研究会ニューズレター』94号, p5, 単著
- 2006年 2 月 「〈レファレンス〉をめぐる一省令科目内の位置づけの再検討を中心に（〔日本図書館研究会〕第47回研究大会研究発表）」, 所載『図書館界』58( 2 ), p90-98, 共著（中村恵信；前川和子）
- 2006年 4 月 「上級司書制度を支えるリカレント教育（2006年度日本図書館協会図書館学教育部会総会発表）」, 所載『日本図書館協会教育部会会報』76号, p4-9 (2006年. 7月刊行), 単著
- 2006年 9 月 「シンポジウム開催の趣旨（シンポジウム もり・きよし—生涯100年—：日本図書館文化史研究会2006年度研究集会発表）」, 所載『図書館文化史研究』24, p1-3 (2007年 3 月刊行), 単著
- 2006年 9 月 「『日本目録規則1987年版改訂 3 版』の「第13章 継続資料」の検討（TP&Dフォーラム;16）発表」, 所載『TP&Dフォーラムシリーズ』16, p28-37(2007年 4 月刊行), 共著（北克一）
- 2006年12月 「カリキュラム改訂に関して：JLA図書館学教育部会の動向について」第58回 近畿地区図書館学科協議会, 於・京都女子大学, 所載 <http://www.nc.otemae.ac.jp/kenkyu/yosida/kinki/Kiroku/kiroku2006> (2008年 1 月31日閲覧), 単著
- 2007年 2 月 公共図書館における有料データベースの導入について（〔日本図書館研究会〕第48回研究大会グループ研究発表, 所載『図書館界』59 ( 2 ), p132-136, 共著（藤間真；西岡清統）
- 2007年 2 月 「文部科学省協力者会議における司書養成, 研修についての新しい動き-文部科学省と図書館の関係-（日本図書館協会図書館学教育部会研究集会発表）」所載『図書館学教育部会会報』80号, p13 (2007年 5 月刊行) 単著
- 2007年 3 月 「“図書館”につながる魅惑の本と図書館用語：誤用の指摘は専門職の責務（日本図書館研究会第242研究例会発表）」, 所載『図書館界』59 ( 2 ),

- p163, 共著 (藤間眞)
- 2007年4月 「『こらからの図書館』をめぐる現段階」(2007年度日本図書館協会図書館学教育部会総会発表), 所載『日本図書館協会教育部会会報』81号, p5-9 (2007年10月刊行), 単著
- 2007年9月 「JLA図書館学教育部会の取り組み: 於・日本図書館研究会図書館学教育研究グループにおける発表, 於・同志社大学」, 所載『図書館界』59(4), p270-271, 単著
- 2007年10月 「もり・きよしにおけるNDCの編集行動と普及活動の跡付け」『第55回日本図書館情報学会発表要綱』p97-100, 共著 (北克一)
- 2007年12月 「日本図書館協会図書館学教育部会と〈これからの図書館〉」JLA図書館学教育部会報告」第59回近畿地区図書館学科協議会, 於・関西大学2007年12月11日, <http://www.nc.otemae.ac.jp/kenkyu/yosida/kinki/Kiroku/kiroku2007> (2008年1月31日閲覧), 単著
- 2008年2月 「〈図書館戦争シリーズ〉の表現に関する図書館情報学的考察 (第49回日本図書館研究大会研究発表 2008年2月17日〈予定〉), <http://wwwsoc.nii.ac.jp/nal/events/taikai/2007/invit.html>, (2008年1月31日閲覧) 共著 (藤間眞; 西岡清統; 家瀬淳一)